

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立加茂農林高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月13日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 加茂農林高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	大橋 薫子	岐阜県農業大学校長	(欠席)
副会長	長尾 久	岐阜県指導農業士	(欠席)
委員	日比野安平	地域住民	
	渡辺 祥二	農業法人代表	(欠席)
	酒向 光世	医療法人管理職	
	武田 由美	美濃加茂市教育委員	
	井戸 肇	同窓会長	
	浅野 恵美	P T A役員	
	学校側	金本 淳	校長
	佐藤 知子	事務部長	
	斉藤 寧子	教頭	
	榎田 一博	教務主任	
	村井 陽一	生徒指導主事	
	森本 達雄	進路指導主事	
	佐藤 一喜	農場長	

5 会議の概要(協議事項)

・学校長挨拶

(1) 本校の教育活動について

- ・生産科学科、園芸流通科生徒による学習成果の発表
- ・生徒・保護者等対象「学校評価アンケート」結果
- ・3年生進路状況
- ・高等学校に期待される社会的役割(スクールミッション)の策定について

意見1:生徒の学習成果の発表が見られて大変良かった。

意見2:生徒の発表から、課題研究の活動が発展していくストーリーがあつてとても良かった。応援していきたい。

意見3:同窓会にも緑園祭などの活動を広報していくべきである。

⇒積極的な参加を学校側からも呼びかけていきたい。

意見4:美濃加茂市主催の海外派遣に応募がなかった。来年度は、自己評価を高くし海外留

学にも挑戦できる人材の育成に取り組んでほしい。

意見5：加茂農林高校には命について学ぶ環境があり、生き物が栄養をもらうように先生や親から愛情というビタミンを受け取っている様子を窺うことができた。命の現場にも興味を持ってもらい、看護・介護職のインターンシップにも積極的に参加してほしい。

意見6：もう少し加茂農林高校が世の中に知られるとよい。とくに外国にルーツを持つ生徒が多く、同じクラスに存在している環境を大切にするとともに、国際化に対応できるよう意図的に教育的機会を作っていくべきである。

意見7：学校評価アンケートより、先生方の一生懸命さが生徒に伝わっていることがわかる。

意見8：学校評価アンケートでは、若干他の項目より設備の清掃や修繕について生徒の満足度が低い結果があるが、掃除は日本が昔から大切にしている教育で、自分で使ったところは自分で掃除するということが習慣となるよう指導を続けてほしい。

意見9：学校評価アンケートから、補習や検定等の指導と支援に対する保護者の関心が高いことがわかる。資格取得に対するニーズは高い。資格は一生ものなので頑張らせてほしい。

意見10：スクールミッションについては、「地域との結びつき」「地域への貢献」「世界で活躍している人材を育成している」「伝統」など、加茂農林高校の研究や活動が地域に還元されていることを入れてほしい。

6 会議のまとめ

- ・本校の取組について励ましの言葉や前向きな意見が得られた。
- ・第1回学校運営協議会において校内見学の時間を設定し、本校の学習環境や、生徒が授業・実習等に取り組む様子を見たことを踏まえ、第2回学校運営協議会においては生徒の学習成果の発表を見た上で協議することができた。
- ・委員や保護者だけでなく、多くの方々に本校で学ぶ生徒の姿を見ることが出来る機会を設定し、本校の教育活動について理解を深めてもらう必要がある。
- ・第1回で頂いたスクールミッションへの提案をもとに素案を提示し、それに対してご意見をいただいた。それをもとにスクールミッションの策定を行う。
- ・1月に予定している次回の学校運営協議会では、本年度の学校の取組と次年度に向けた学校運営方針について、委員からの助言や提言を受け、学校運営のあり方を模索しつつ、修正していく。
- ・本協議会は、引き続き学校が抱える課題を地域と共有し、委員の視点から助言を得る場としたい。